

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

中野通りー1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」と歩いてきました。

今回は「中野通り」を歩きます。中野通りは渋谷区笹塚二丁目の甲州街道の笹塚交差点を起点に、新宿区西落合四丁目の目白通りの南長崎六丁目交差点に至る延長約7kmの道です。写真右上は中野通りの道路名標識（都道420号線）です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[笹塚交差点] 渋谷区笹塚二丁目

最寄駅 京王線 笹塚駅



笹塚交差点（写真上右）が中野通り（都道 420 号線）の起点で中野駅方面へ向かいます。交差するのは甲州街道（国道 20 号線）で左へ行くと八王子方面、右へ行くと新宿方面です。上は高速道路新宿線の幡ヶ谷陸橋です。

[清岸寺] 渋谷区幡ヶ谷二丁目 最寄駅 京王線 笹塚駅

右側に 1624 年（寛永元年）創建の浄土宗の「清岸寺」があります。代々木にありましたが、代々木練兵場となるため 1908 年（明治 41 年）この地へ移りました。境内右には「疱瘡稻荷神社」（写真下左）、本堂右には「酒吞地蔵尊」（写真下右）があります。寅さん歩 59 健康ご利益めぐりー21 渋谷区をご覧ください。



正面には「本堂」（写真下左）、本堂左には右から「魚籃観音」・「幡ヶ谷観音」・「幼児の法然さま像」が並んでいます（写真下右）。



[南台交差点] 中野区南台三丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

笹塚を過ぎると中野区南台に入ります。

南台交差点（写真下右）で方南通り（都道 14 号線）と交差します。

左へ行くと方南町方面、右へ行くと新宿方面です。



[寿橋] 中野区弥生町五丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

神田川（写真下右）にかかる寿橋（写真下左）を渡ります。



[十貫坂上交差点] 中野区本町六丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 新中野駅



十貫坂上交差点（写真左）を直進します。
右が十貫坂で新中野駅方面へ向かいます。

「十貫坂」とは坂周辺から十貫文が入った壺が埋められていたとか、中野長者が坂の上から見渡せる広大な土地を十貫文で買ったからなどの説があるそうです。

[杉山公園交差点] 中野区本町六丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 新中野駅

杉山公園（写真下左）は明治時代の実業家 杉山裁吉の邸宅があった場所です。愛娘の病気療養のために、当時豊かな田園地帯であったこの地に居を構えました。愛娘に次いで夫人を亡くした杉山裁吉は中野町に土地と邸を寄付、東京市は1934年（昭和9年）この地を杉山公園としました。公園の先にある杉山交差点（写真下右）は青海街道（都道4号線）と交差します。左へ行くと荻窪方面、右へ行くと新宿方面です。中野通りは直進します。



[中野五差路交差点] 中野区中央五丁目

最寄駅 JR中央線 中野駅

中野五差路交差点（写真下右）で大久保通り（都道433号線）と交差します。左へ行くと高円寺方面、右へ行くと大久保方面です。中野通り（都道420号線）は直進して哲学堂方面に進みます。



[中野駅南口交差点] 中野区中野三丁目

最寄駅 JR中央線 中野駅



右側にJR中野駅南口が見えます（写真左）。線路をくぐると中野駅北口です。付近には「サンプルザ中野（2023年7月閉館）」、「中野区役所」・「四季の森公園」、「帝京大学中野キャンパス」、「明治大学中野キャンパス」などがあり賑やかです。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年9月3日小田原宿（現在の神奈川県小田原市）（江戸日本橋から82km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。

写真下は「小田原 酒匂川」で酒匂川を渡れば小田原です。箱根の山のふもとに小田原城が小さく描かれています。旅人は輦台（れんだい）に乗ったり、肩車したりと様々な方法で川を渡っています。



小田原は寅次郎と縁がある地です。実家の家紋は小田原北条のミツウロコ、ご先祖様は小田原北条一族傍系の武士で小机城（現在の横浜市港北区小机町）にいましたが、小田原城が豊臣秀吉に攻められた時に藤沢まで来たら小田原城が落ちたと知り、藤沢の地（現在の藤沢市大庭）で武士を捨て農民となりました。その後、東海道が整備された時に東海道沿いに出て来て、商売を始めたと言われます。

また、小田原は寅次郎が勤めた会社の工場があり、9年間自宅のある藤沢から東海道線で通いました。

写真下は小田原名物が入った寅次郎いち推しの駅弁です。



小田原名物の蒲鉾は江戸後期、蒸し蒲鉾として小田原で考案され、その後、関東式の板蒲鉾として全国にその名を広めました。

梅干は初代小田原城主 北条早雲が薬効と日持ちの良さに目を付け、兵士の食用に生産を奨励しました。江戸時代には小田原名産として旅人の土産になりました。相模湾で採れた小鰻の押し寿司（写真下）もお勧めです。

寅次郎、いずれの駅弁は小田原駅の売店で買いました。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝